



平成26年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ファーストリテイリング

コード番号 9983 URL <http://www.fastretailing.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 柳井 正

問合せ先責任者 (役職名) グループ上席執行役員 CFO (氏名) 岡崎 健

TEL 03-6865-0050

四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日

配当支払開始予定日

平成26年5月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第2四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第2四半期	764,349	24.3	103,204	6.8	107,584	△0.2	64,557	△1.4
25年8月期第2四半期	614,841	17.0	96,658	5.3	107,760	15.2	65,449	13.2

(注)包括利益 26年8月期第2四半期 72,713百万円 (△52.3%) 25年8月期第2四半期 152,336百万円 (70.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年8月期第2四半期	633.52	632.79
25年8月期第2四半期	642.52	641.86

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年8月期第2四半期	948,522		637,494		64.7	
25年8月期	885,800		579,591		63.2	

(参考)自己資本 26年8月期第2四半期 613,334百万円 25年8月期 559,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年8月期	—	140.00	—	150.00	290.00
26年8月期	—	150.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	150.00	300.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,370,000	19.9	145,500	9.5	149,500	0.3	88,000	△2.6	863.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年8月期2Q	106,073,656 株	25年8月期	106,073,656 株
② 期末自己株式数	26年8月期2Q	4,162,482 株	25年8月期	4,177,164 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年8月期2Q	101,901,611 株	25年8月期2Q	101,863,996 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(1) 部門別売上実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年9月1日～平成26年2月28日）の連結業績は、売上高が7,643億円（前年同期比24.3%増）、営業利益は1,032億円（同6.8%増）、経常利益は1,075億円（同0.2%減）、純利益は645億円（同1.4%減）となりました。全てのセグメントの売上高、営業利益で増収増益を達成しており、特に海外ユニクロ事業が大幅な増収増益となっております。営業外収支では為替差益が前年同期比64億円減少した結果、経常利益、純利益は前年同期比で若干の減益となっております。

当社グループは、中期ビジョンとして「世界No.1 アパレル製造小売グループとなる」ことを目標に、「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」を進めております。特に海外におけるユニクロ事業に力を注いでおり、出店を加速する一方で、世界主要都市におけるグローバル旗艦店・繁盛店を出店し、ユニクロブランドの認知度を高め、事業の基盤強化を図っております。また、グローバルブランド事業においても、ジーユー事業、セオリー事業の積極的な事業の展開を図っております。

[国内ユニクロ事業]

国内ユニクロ事業の同期間の売上高は4,055億円（同4.7%増）、営業利益は702億円（同1.8%増）と増収増益となりました。増収となったのは、既存店売上高が2.2%増となったこと、スクラップ&ビルドによる店舗の大型化で1店舗当たりの売上高が増加したこと、2月末の直営店舗数が831店舗（フランチャイズ店18店舗除く）となり、前年同期末比で3店舗増加したことによります。既存店売上高2.2%増の内訳は、客数が0.5%増、客単価が1.7%増となっております。収益面では、売上高総利益率が前年同期比0.8ポイント改善した一方で、売上高販管費比率は同1.3ポイント上昇いたしました。これは主に、パート・アルバイトなどの店舗人件費が増加したこと、広告宣伝費が増えたこと、定番商品の在庫を積み増したることにより、物流費・倉庫費が増加したためです。

[海外ユニクロ事業]

海外ユニクロ事業の同期間の売上高は2,320億円（同77.6%増）、営業利益は280億円（同75.1%増）と、計画を上回る大幅な増収増益となりました。グレーターチャイナ（中国・香港・台湾）、韓国、米国、欧州の業績が計画を上回っております。東南アジア地区についても、計画通り順調な業績を達成いたしました。2月末の海外ユニクロ事業全体の店舗数は、前年同期末比175店舗増加し、534店舗まで拡大いたしました。

グレーターチャイナにおける同期間の業績は、計画を上回る大幅な増収増益となりました。この半年間で46店舗を出店（1店舗閉店）し、2月末店舗数は325店舗となりました。2013年9月には上海にユニクロ最大の売場面積（約2,000坪）を誇るグローバル旗艦店の上海店をオープンし、中国におけるユニクロのブランド認知をさらに高めることができました。韓国も冬のコア商品の販売が好調で、計画を上回る大幅な増収増益となりました。13店舗を出店（2店舗閉店）し、2月末の店舗数は116店舗となりました。米国は、グローバル旗艦店のNY5番街店をはじめとするニューヨークの3店舗が二桁増収と好調だったことに加え、この秋にショッピングモールにオープンした10店舗も順調に推移したことで、赤字幅が前年同期比で大幅に縮小いたしました。欧州も既存店売上高が二桁増と好調に推移いたしました。2014年4月11日にドイツ1号店（グローバル旗艦店）をベルリンに、4月16日にオーストラリア1号店をメルボルンにオープン予定です。

[グローバルブランド事業]

グローバルブランド事業の同期間の売上高は1,253億円（同31.0%増）、営業利益は92億円（同7.7%増）と増収増益を達成いたしました。ジーユー事業は前年同期比では増収増益を達成したものの、計画比では若干下回る結果となりました。これは、第2四半期にアウター類などの冬物商品の在庫処分による値引き販売が増えたことによります。ジーユーはこの半年間に40店舗を出店（4店舗閉店）し、2月末の店舗数は250店舗となりました。セオリー事業は前年同期比増収となったものの、営業利益は計画を若干下回り、減益となりました。これは主に、米国の景気低迷による百貨店販売の不振、日米両事業で広告宣伝費や人件費などの経費が増加したことによります。J Brand事業も米国の景気低迷の影響を受け、計画を下回る業績となりました。コントワー・デ・コトニエ事業は計画を上回る増収増益、プリンセスタム・タム事業はほぼ計画通りの業績となりました。

[CSR活動]

当社グループのCSR活動は「社会的責任を果たす」「社会に貢献する」「社会の問題を解決し新たな価値を創造する」ことを基本方針とし、グローバルかつ地域に根ざした活動に取り組んでおります。

2013年8月期のCSR活動をまとめた「CSRレポート2014」を、1月に発行いたしました。当社が優先課題として特定した4つの領域（生産・環境・地域コミュニティ・人材）について、活動報告や改善に向けた取組みを特集しております。当社ウェブサイトや店頭などでも、多様なステークホルダーの皆様への説明責任とコミュニケーション促進のため、積極的な情報開示を行っております。

バングラデシュでの貧困・衛生などの社会的課題の解決を目指す「ソーシャルビジネス」では、総選挙に関連するゼネラルストライキが頻発するなか、「グラミンユニクロ」店舗を、2013年7月の1号店オープンから12月末までに、6店舗を出店いたしました。雇用の拡大および高品質で多くの人々が購入できる価格での商品提供を通じ、現地への貢献を目指します。

また、お客様からユニクロとジーユーの商品をお預かりし、服を必要とする人々に届ける「全商品リサイクル活動」では、10カ国の店舗で累計2,897万点以上を回収し、45カ国に1,129万点（2013年9月末現在）を寄贈しております。12月には55万着をシリア難民が暮らすヨルダンのザータリ難民キャンプへ寄贈するなど、世界各地で支援活動を実施しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は9,485億円となり、前連結会計年度末に比べ627億円の増加となりました。これは主として、現金及び預金が701億円増加したことによるものです。

負債は3,110億円となり、前連結会計年度末に比べ48億円の増加となりました。これは主として、未払法人税等が134億円増加したこと、支払手形及び買掛金が51億円減少したことによるものです。

純資産は6,374億円となり、前連結会計年度末に比べ579億円の増加となりました。これは主として、利益剰余金が492億円増加したこと、為替換算調整勘定が35億円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます）は、前連結会計年度末に比べ627億円増加し、3,584億円となりました。

営業活動による収入は、1,036億円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益1,081億円によるものです。

投資活動により支出した金額は、252億円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出188億円、無形固定資産の取得による支出29億円、敷金及び保証金の差入による支出28億円によるものです。

財務活動により支出した金額は、206億円となりました。これは主として、配当金の支払額151億円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績および下半期の計画を考慮し、以下のとおり修正いたします。

なお、平成26年1月9日付「平成26年8月期 第1四半期決算短信」で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,322,000	156,000	155,000	92,000	902.85
今回修正予想(B)	1,370,000	145,500	149,500	88,000	863.50
増減額(B-A)	48,000	△10,500	△5,500	△4,000	—
増減率(%)	3.6	△6.7	△3.5	△4.3	—
前期実績	1,143,003	132,920	148,979	90,377	887.12

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、J BRAND Japan Co., LTD.、Theory Holdings LLC を新たに設立したため、GU (Shanghai) Trading Co.,Ltd.、Comptoir des Cotonniers (Shanghai) Trading Co.,Ltd.、PRINCESSE TAM.TAM (SHANGHAI) TRADING CO., LTD. については、今期より営業を開始し重要性が増したため、連結の範囲に含めております。LTH GmbHについては、第1四半期連結会計期間において清算したため、連結の範囲から除外しております。また、当第2四半期連結会計期間において、FAST RETAILING UK LTD、J BRAND EUROPE LTDを新たに設立したため、UNIQLO Pennsylvania LLC、UNIQLO Massachusetts LLC、UNIQLO Design Studio, NewYork, Incについては今期より営業を開始し重要性が増したため連結の範囲に含めております。なお、UNIQLO Design Studio, NewYork, Incに関しましては平成26年1月にUNIQLO GLOBAL INNOVATION CENTER INC. に社名変更をしております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

税金費用については、従来、原則的な方法により計算しておりましたが、当第2四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。この変更は、当連結会計年度における香港証券取引所上場によって、多様化した財務諸表利用者及びそのニーズに対応する有用な情報を迅速に提供するために行ったものです。なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	147,429	217,545
受取手形及び売掛金	34,187	33,333
有価証券	148,215	141,141
たな卸資産	166,654	163,502
繰延税金資産	4,002	4,662
未収還付法人税等	8,980	1,365
為替予約	113,641	110,531
その他	17,486	18,774
貸倒引当金	△488	△523
流動資産合計	640,109	690,332
固定資産		
有形固定資産	90,405	104,487
無形固定資産		
のれん	31,691	29,354
その他	46,423	47,344
無形固定資産合計	78,115	76,699
投資その他の資産	77,170	77,002
固定資産合計	245,690	258,189
資産合計	885,800	948,522
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,951	116,781
短期借入金	1,862	1,244
1年内返済予定の長期借入金	3,632	4,335
未払法人税等	26,005	39,445
引当金	10,081	7,766
その他	90,432	92,170
流動負債合計	253,966	261,743
固定負債		
長期借入金	21,926	20,075
引当金	75	80
その他	30,240	29,128
固定負債合計	52,243	49,283
負債合計	306,209	311,027

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,273	10,273
資本剰余金	5,963	6,260
利益剰余金	482,109	531,382
自己株式	△15,851	△15,810
株主資本合計	482,495	532,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,978	△5,044
繰延ヘッジ損益	71,005	69,886
為替換算調整勘定	12,875	16,386
その他の包括利益累計額合計	76,901	81,228
新株予約権	1,170	2,028
少数株主持分	19,024	22,131
純資産合計	579,591	637,494
負債純資産合計	885,800	948,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
売上高	614,841	764,349
売上原価	310,876	387,559
売上総利益	303,965	376,790
販売費及び一般管理費	207,306	273,586
営業利益	96,658	103,204
営業外収益		
受取利息及び配当金	259	327
為替差益	11,129	4,728
その他	364	582
営業外収益合計	11,754	5,638
営業外費用		
支払利息	243	494
その他	409	763
営業外費用合計	652	1,257
経常利益	107,760	107,584
特別利益		
固定資産売却益	66	878
特別利益合計	66	878
特別損失		
固定資産除却損	170	72
買収関連費用	739	—
その他	336	257
特別損失合計	1,246	329
税金等調整前四半期純利益	106,580	108,133
法人税等	38,827	39,843
少数株主損益調整前四半期純利益	67,753	68,289
少数株主利益	2,303	3,731
四半期純利益	65,449	64,557

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	67,753	68,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,691	1,934
繰延ヘッジ損益	65,033	△1,118
為替換算調整勘定	12,858	3,609
その他の包括利益合計	84,583	4,424
四半期包括利益	152,336	72,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,457	68,883
少数株主に係る四半期包括利益	4,879	3,830

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	106,580	108,133
減価償却費及びその他の償却費	10,370	13,889
のれん償却額	2,322	3,054
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△633	△13
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△2,917	△2,544
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	0	4
受取利息及び受取配当金	△259	△327
支払利息	243	494
為替差損益 (△は益)	△6,446	△3,972
固定資産除却損	170	72
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,247	2,153
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,505	7,453
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,164	△8,388
その他の資産の増減額 (△は増加)	△467	1,840
その他の負債の増減額 (△は減少)	5,849	2,006
その他	1,470	△898
小計	128,704	122,957
利息及び配当金の受取額	259	306
利息の支払額	△246	△499
法人税等の支払額	△26,666	△28,793
法人税等の還付額	10,038	9,706
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,089	103,677
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,783	△18,867
有形固定資産の売却による収入	126	1,318
無形固定資産の取得による支出	△2,771	△2,983
敷金及び保証金の差入による支出	△2,234	△2,855
敷金及び保証金の回収による収入	864	264
建設協力金の支払による支出	△1,141	△1,468
建設協力金の回収による収入	867	850
預り保証金の受入による収入	30	148
預り保証金の返還による支出	△142	△244
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△26,771	—
関係会社株式の取得による支出	—	△744
その他	214	△689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,741	△25,271

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,360	△702
長期借入れによる収入	14,870	—
長期借入金の返済による支出	△6,017	△2,317
配当金の支払額	△13,240	△15,183
少数株主への配当金の支払額	△891	△633
リース債務の返済による支出	△1,665	△1,697
その他	201	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,103	△20,656
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,885	4,365
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	76,129	62,115
現金及び現金同等物の期首残高	266,020	295,622
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	681
現金及び現金同等物の四半期末残高	342,151	358,419

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計	その他 (注2)	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内ユニクロ 事業	海外ユニクロ 事業	グローバル ブランド事業 (注1)				
売上高	387,246	130,663	95,726	613,636	1,205	—	614,841
セグメント 利益	68,996	16,022	8,585	93,604	52	3,000	96,658

- (注) 1 当第2四半期連結会計期間よりグローバルブランド事業に、新規に取得したJ Brand事業
(「J BRAND」ブランドの国内・海外における衣料品販売事業)を含めております。
2 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。
3 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△2,322百万円が
含まれております。
4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	国内ユニクロ 事業	海外ユニクロ 事業	グローバル ブランド事業				
売上高	405,592	232,037	125,367	762,997	1,351	—	764,349
セグメント 利益	70,213	28,049	9,247	107,511	16	△4,323	103,204

- (注) 1 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。
2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△3,054百万円が
含まれております。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 部門別売上実績

部門	前年同四半期 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)		(参考) 平成25年8月期	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)
メンズ	166,084	27.0	168,293	22.0	286,959	25.1
ウィメンズ	182,249	29.6	197,065	25.8	331,912	29.0
キッズ・ベビー	21,353	3.5	23,321	3.1	34,204	3.0
グッズ・その他	11,255	1.8	10,494	1.3	19,396	1.7
国内ユニクロ商品売上合計	380,943	61.9	399,175	52.2	672,473	58.8
FC関連収入・補正費売上高	6,303	1.0	6,417	0.8	10,841	1.0
国内ユニクロ事業合計	387,246	62.9	405,592	53.0	683,314	59.8
海外ユニクロ事業	130,663	21.3	232,037	30.4	251,191	22.0
ユニクロ事業合計	517,909	84.2	637,630	83.4	934,506	81.8
グローバルブランド事業	95,726	15.6	125,367	16.4	206,234	18.0
その他事業	1,205	0.2	1,351	0.2	2,263	0.2
合計	614,841	100.0	764,349	100.0	1,143,003	100.0

- (注) 1 FC関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ(補正)の加工賃及び刺繍プリントによる収入等であります。
- 2 ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
- 3 グローバルブランド事業は、コントワー・デ・コトニエ事業(「COMPTOIR DES COTONNIERS(コントワー・デ・コトニエ)」ブランドの衣料品販売事業)、プリンセス タム・タム事業(「PRINCESSE TAM.TAM(プリンセス タム・タム)」ブランドの衣料品販売事業)、ジーユー事業(「ジーユー」ブランドの衣料品販売事業)、セオリー事業(「Theory(セオリー)」)、「Helmut Lang(ヘルムート・ラング)」、「PLST(プラステ)」ブランド等の衣料品販売事業)及びJ Brand事業(「J BRAND(ジェイブランド)」ブランドの衣料品販売事業)で構成されております。
- 4 その他事業とは、不動産賃貸業等であります。
- 5 上記金額には、消費税等は含まれておりません。